

# 東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働合  
横浜地方本部  
発行者/小清水和彦

## 2023 年度年末手当 3.5 ヶ月分の要求提出!

JR 東日本の 2024 年 3 月期第 1 四半期決算は、単体営業利益 639 億円・経常利益 572 億円・当期純利益 414 億円と昨年を上回る業績でした。

さらに 8 月に発表されたお盆期間のお客さまご利用状況は、348.3 万人増、対前年比 147%増と昨年を上回る状況まで回復してきています。

また横浜支社管内では、特急踊り子号・湘南号は、7.8 万人増・130%増、成田エクスプレスは 11.1 万人増・382%増と昨年上回る好調な状況となりました。

一方、働く我々社員は「変革 2027」の施策が始まってからジョブローテーションや業務の融合等が実施され、多様な働き方により業務の質や量が格段に増え、一人ひとりの負担は増加傾向にあります。

そして、我々の生活を見れば、電気代やガソリン価格、生活必需品の値上げ等で様々な価格が上昇し、止まらない物価高でさらに生活が苦しくなっています。

会社は、この間の交渉で「期末手当については、**直近の業績を踏まえて判断していくという基本的な考え方は変わっていない**」「2018 年の利益に及ばない」と回答していますが、会社は赤字を脱し、2期連続の黒字を計上できる体力は戻ってきています。現場で働く社員の努力の結果にあり、会社は社員に報いる必要があるはず

です。  
私たち東日本ユニオンは、コロナ前の「年間 6.0 ヶ月以上」の水準に戻すべく、年末手当を「社員一律による基準内賃金の 3.5 ヶ月分」の要求をしています。

**期末手当の基準額は会社と労働組合が  
交渉して決定するものです。  
声を上げ、要求満額をかち取ろう!**

